

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
1	H31. 04. 16 高原地域	平成15年頃にできた里創(りそう)プランの基金について、県から1億円、頸南5市町村で9億円、合計10億円の基金の内板倉と中郷に3億円を拠出した。事業展開しない場合は県に1億円を返す約束だった。その後の質問では、4億円は流用したとの回答だった。この基金の行く末はどうなるのか。また、県の監査委員がどう考えているのか、妙高市が黙って使ったとすればおかしな話となる。	当時は文化関係でもこの資金でいろいろな事業を行った記憶がある。その後の基金についてはあまり把握していないため、良く調べて再度答弁する。	調査し、議会だよりに掲載する。
2	H31. 04. 16 高原地域	予算書・決算書を見ても基金の説明がない。中身はどうなっているか。	合併当時から約15億ほど減っているが、なかなか少なくならないのが現実であり、今のところ健全ではないかと思っている。減らない理由として、一般会計は、事業を行うときに借金をしながら行い、国からの補助金をもらっている。もう一つ企業会計のガス・水道・下水道は、浄水場を建替え、若干増えている。	当日の回答どおり
3	H31. 04. 16 高原地域	外国人が多く施設購入をしているが、その後のコミュニティーの問題や固定資産税徴収の問題等について、どう考えているか。	滞納問題は厳しい現状だ。特に事業系の固定資産税の収納率が悪い。現在、市民税務課の職員や徴収機構との連携で徴収率の向上を目指しているが、その効果が少しずつ出てきている。納めるものは納めないと妙高市自身の事業ができない。	当日の回答どおり
4	H31. 04. 16 高原地域	外国人には優遇制度があるのか。また、何年か猶予があるような話も聞いたことがあるがどうか。また、税金を投入して施設整備をしても、その後外国人が出ていったら、市民にしわ寄せがくる。それらを踏まえて皆さんから知恵を絞っていただきたい。	意見として伺う。	当日の回答どおり
5	H31. 04. 16 高原地域	DMOが立ち上がった。外国人（施設購入者）等が観光協会的な組織に加入しないで運営していくとなると先行きが不透明である。中には過去の観光協会がこじんまりとやりたいというところも出ているようだが、皆さんから何か良い意見があればお願いしたい。	市の観光協会が3月で解散した。DMOは国の認定を受けている。観光事業者が努力しているし、地域全体が活性化していく手段の一つが観光だと捉えることが必要だ。DMO・商工会・農業関係・グリーンツーリズム・広域観光、それらを含めてオーストラリアへ商談に行くほか、夏場の戦略を持っている。地域が一丸となって魅力アップする事が必要。DMOがいろいろ問題を抱えているのは事実だ。一番大切なのは人材確保だ。これからの活動に期待したいと思っている。 インバウンドはDMOの事業の一部だ。依然として国内旅行者の割合が8割以上占めている。	当日の回答どおり
6	H31. 04. 16 高原地域	健全財政と言っているが決して健全ではないと思う。職員の給料も全国1,788中ワースト412～3番だ。一方で箱モノができて、交付税には補助金算入されるが、その後の運営費には補助金は出ない。この辺を含めて議員の皆さんが精査して土俵の上でしっかり相撲をとってほしい。	意見として伺う。	当日の回答どおり

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
7	H31. 04. 16 高原地域	国体の収支決算で、収入の部が9,700万と記載あったが、内訳は。	議会としても質問を投げたが、正確な集計ができないという回答だった。	当日の回答どおり
8	H31. 04. 16 高原地域	収入の部の金額は、どこからの収入なのか。	総額、県から出ている。	当日の回答どおり
9	H31. 04. 16 高原地域	去年の質問で国体開催での税込額はどうか、経済効果はどうか。 支出で約2億3,700万と記載があった。補助金は約1億だ。1年間で経済効果はあったのか。	経済効果についても出しにくい。選手・役員等の宿泊などで少なくとも5億円以上の効果があるとの報告があった。その他、ガソリンとか含めればもう少し多くなる。	当日の回答どおり
10	H31. 04. 16 高原地域	議会本会議の傍聴席で、報道関係者が腕章をしていないが、議会事務局へ届け出れば良いと言われた。有権者から見たときに、どこの誰だかわかるようにしてもらいたい。報道関係者が大事なのか一般有権者が大事なのか。 9月議会で議長から傍聴席静かにしてくださいと言われた人間の一人です。	議場における腕章は、事務局に届け出れば腕章を付けなくても良いこととなっている。 議場の中での注意は、声が聞こえたので私語を慎んでくださいと言う形で通告をした。傍聴席では静かに聞いていただきたい考えた。	当日の回答どおり
11	H31. 04. 16 高原地域	どこの報道関係者なのか、一般有権者から見て分かるようにしてほしい。私の意見は有権者が大事なのか、報道関係者が大事なのか。私は有権者のほうが大事だと思うが。	意見としてうかがっておく。 どちらが大事だという結論を出すことは難しいと考えるが、議員等で検討する。	当日の回答どおり
12	H31. 04. 16 高原地域	議員定数について、同程度の有権者数で妙高市は18名、胎内市では16名だ。財政が厳しいので切りつめた方が良いのではないのか。	合併当時は3市で50人だった議員も、今では18人まで減った。これだけの面積を見ていくのは18人でも大変である。胎内市の定数は調べる。	当日の回答どおり
13	H31. 04. 16 高原地域	妙高市のラスパイレス指数はどのくらいか。	ラスパイレス指数は、多分90%位だと思う。	当日の回答どおり

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
14	H31. 04. 16 高原地域	外国人が来た人数、平成17年度は5万人と先程言ったが、2月7日のNHK妙高ウィークリーでの数字は3万5千人と出していた。違いはどこにあるのか。 NHKも市からの資料を基にしていると思うが。	調査機関によっていろいろ取り方が違う。地方創生関係では三菱総合研究所、他に県の観光統計などがあり、それぞれ捉え方が異なる。数字が、本当にそうなのかと言えなかなかなか難しい部分がある。施策ごとに捉え方が異なる。 ブッキングドットコムが一番多いが5万5千人くらいが正解だと思うが、3万5千人と言うのは信越アライアンスを経由した人数だと思う。	当日の回答どおり
15	H31. 04. 16 高原地域	農作物に対するサル被害が多い。妙高高原地域から妙高・新井地域へ徐々に下がっていく。現在、3グループで300匹くらいが動いている。妙高地域や新井地域へ入っていく前に何とかサルの進出をくい止めたかどうかと考えているが。	数を減らすのが一番だ。駆除するには狩猟の免許が必要となる。何より人がいない。そんな中で、習性を知る学習会の開催要望や免許取得の補助など手を尽くしていると聞いているが、大変だと思うが、自衛するしかないと思う。ご協力願いたい。	当日の回答どおり
16	H31. 04. 16 高原地域	根気負けしないよう花火や電気柵の補助を有効活用している。おかげで2年前から被害が少なくなっている。しかし、イノシシ被害が増えだしている。サルについては電気柵の効果が出ていると思う。議員の皆さんから一段と補助金の関係等々検討いただきたい。	イノシシ問題は妙高市域全体で大きな被害となっており問題となっている。電気柵が有効だが個々に設置するのではなく集落ごとに協力して設置する方が効果的だとも聞いている。補助事業を活用してほしい。また、獲ったらジビエ料理や加工食品などの処理方法は全国各地で進んでいる。議会としても委員会調査をしており、それらを含めながら検討すべきと思っている。	当日の回答どおり
17	H31. 04. 16 高原地域	妙高高原駅前開発については、活性化が進んでいない。観光案内所ができたが、そのほかに何か具体的な目に見えるような活性化がされているのか聞きたい。良い策はないが、過去にはいろいろな意見があったことも覚えておいてほしい。	駅前活性化については、合併直後から活性化プロジェクトで議論してきたと思うが、依然として実現していない。トキ鉄とどこまで共同で行けるかが一番の問題だ。駅舎については市の所有ではないため、トキ鉄の姿勢にも課題がある。鉄道利用者が減っていること。今のところ名案はない。	当日の回答どおり
18	H31. 04. 16 高原地域	公民館等でインターネットが使えない。最初に電話線工事する初期投資に何か援助してもらえないか。後のプロバイダ契約料や電話料は自分たちで支払える。何とか改善してほしい。	公民館ならずとも、インターネットを利用して発信したり受信したり、提供が必要になってくる。フリーwi-fiについて、公共施設（市役所、支所）から整備が進むよう提案しているが、すぐやるという形にはなっていない。	当日の回答どおり
19	H31. 04. 16 高原地域	夏場の長距離関係の練習場所としては、皆さん非常に喜んでいる。合宿の最後は菅平へ行く。菅平の優れているところは、私生活を含めて寝食をその場で（1,300m）でき、トレーニングできることだ。野尻湖周辺も人気がある。駅前の活性化とは違うが、とにかく人が来れば何か良い方向に動くと思っている。	意見として聞く。	当日の回答どおり

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
20	H31. 04. 17 妙高地域	高齢化が進む中、圃場整備が終わる10年後を見据えた取り組みに、さらに園芸を取り入れてやっていけるのか。また、地域の農業をどう残していくか検討していかなくてはと思っているが、議会ではどのように考えているか。どのように進めたらいいか。	園芸については、土地によって適した作物が大きく変わる。県の普及センター等を利用してほしい。 農家の高齢化については、若い人たちが働き、子どもを育てていける経済的裏付けがなくてはならない。地域全体で支援して行く体制が必要だと思う。	当日の回答どおり
21	H31. 04. 17 妙高地域	地域で園芸に取り組むのは難しいが、雪を活かした園芸が出来ないか考えていくことが課題である。圃場整備完了までに答えを出すようにしたい。 また、現在地域の関係者全員にアンケートをとっている。地域の意見を取りまとめながら進めたい。協力をお願いしたい。	農業は6次産業まで取り組まないと先が見えない。そういったものを進めるような形で取り組んでほしい。	当日の回答どおり
22	H31. 04. 17 妙高地域	平成29年10月22日に今府地内で北沢川が氾濫した。地元議員や市の一連の対応等について、各議員は承知しているか。	知っているか、知らないかだけで、ご理解いただきたい。 (特別答弁が必要とされていないので次の意見交換に移った。)	当日の回答どおり
23	H31. 04. 17 妙高地域	妙高市は住みよいまちの上位クラスであるが、実感がない。住みよいまちでありながら、なぜ人口がこんなに減っていくのか。	住みよさランキングは、統計上のことで本当に住みやすいかということがある。諸問題に対して市がどこに予算付けするかが重要である。RESAS（地域経済分析）を使い、いかに予算付けするか、市も勉強し議員もやっていかなければならない。	当日の回答どおり
24	H31. 04. 17 妙高地域	人口減少についてはどのように考えているか。	人口減少問題を解決するには、認知度を上げるべきだと思う。 働く場所があれば、だけではなかなか解決しない人口減少問題になっていると思う。多面的な角度から見て、妙高市の特徴をどう活かすかに重点を置いて考えてはどうかと思っている。	当日の回答どおり
25	H31. 04. 17 妙高地域	夜間の除雪の体制と業者の判断による除雪実施について、システムをつくってほしい。	3月定例会の委員会質疑の中では、夜間除雪について、費用対効果やオペレーターの確保等に課題があり、今のところ考えていないとのことだが、今後も要望に応えるべく質問していきたいと思う。	当日の回答どおり
26	H31. 04. 17 妙高地域	あらい道の駅のトラックステーションの土地が空いたままとなっているが、なぜそのままにしているのか。 駐車場の拡張に利用してはどうか。	トラックステーションについては、閉鎖からかなりの年月が経っている。その間譲渡先等を探したりしているようだが、民間施設ということもあり難しいようである。	当日の回答どおり

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
27	H31. 04. 17 妙高地域	拡張道の駅はどうか。先が見えない。経済効果等はどうか。	拡張道の駅については、防災拠点として出発し、それに併設し農業振興施設が整備される流れとなった。農業振興施設には、農家レストランや雪室等を組み合わせ、農業振興を図る。国の補助金を入れながら整備される。これから指定管理者の関係等が出て来るが議会の中でより良いものにするよう議論を重ねる必要がある。	当日の回答どおり
28	H31. 04. 17 妙高地域	人口増のためにも除雪が大切である。住みよいまちのためにも議員から頑張っていたきたい。	除雪基準が15センチから10センチに変わったが、これからは、日中除雪と支所等での出動の判断の問題などへの対応について、工夫してもらいたいことを強調していきたい。	当日の回答どおり
29	H31. 04. 17 妙高地域	地域づくり応援事業について詳細な内容はどうか。	この事業では、地域づくり協働センターの設置、地域づくり活動総合交付金、地域の元気づくり活動補助金等の予算が計上されている。このほか、高齢化や人手不足が進む地域の協働作業に対し里山応援団を派遣する事業も行っている。	当日の回答どおり
30	H31. 04. 17 妙高地域	農業を中心とした今後の地域づくりのために、直売センターとまとを核にした補助金を付けるなど応援をお願いしたい。	とまとは、地域の核となる施設で大きな強みである。強みの部分をいかに伸ばし、より多くの人を巻き込むかが次の課題だと考える。 地域の主役は地域の住民である。地域の声を聞かせてほしい。	当日の回答どおり
31	H31. 04. 17 妙高地域	防衛省関係の予算について、最近では地元への恩恵がないようだがどうか。	防衛施設周辺整備交付金の活用については、まずは地元の地域を優先して考えるべきである。そのことを今一度見直して予算付けについて、提言していかなければならないと思う。	当日の回答どおり
32	H31. 04. 17 妙高地域	妙高地域でのガス事業の導入について、検討はないのか。	3月定例会の委員会質疑の中では、拡大については受益者負担の問題もあり、なかなか進まないという議論があった。 すぐには進まないかもしれないが、意見があったことを伝えたい。	当日の回答どおり
33	H31. 04. 18 新井地域	昨年からの減反政策がなくなった途端に、耕作放棄地が栗原の場合多くなっている。議会ではどのような方向で進んでいくのか。	昨年からの通常農業委員の他に、農地適正化推進委員という形で、農業委員会の方で耕作放棄地を少しでもなくしたり、遊休農地を活用するような対策に取り組んでいる。	当日の回答どおり

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
34	H31. 04. 18 新井地域	耕作放棄地の対策として、田んぼアート、コスモスやひまわりを植えるのもいいと思うが、市としてどのような考えがあるか。	地域の元気づくり事業の補助金、助成制度がある。単発の場合は確か上限が5万円位、例えば3か年継続事業の取り組みで市の補助制度がある。事業費の8割補助の形の制度もある。できれば地域づくり協働センターで、地域づくりの関係で相談してほしい。	当日の回答どおり
35	H31. 04. 18 新井地域	広島のコミュニティセンターのトイレが、男女共用になっていて1個しかない。補助率を8割程度まで上げていただけないか。	常に要望をしていくことが良いと思う。	行政側に伝える
36	H31. 04. 18 新井地域	農振除外地の市街地農地をこれからどういふふうに守っていくかというのが大きな課題になってくる。農振除外地は補助が全くない。妙高市独自の補助金等を考えてもらえないか。	新しい担い手確保ということで、市として青年就農支援事業や新規就農資金交付事業という形の支援策をおこなっている。今年からは、新規就農者等の農業機械導入の支援事業ということで、側面から応援していくという形の制度も取り入れている。	当日の回答どおり
37	H31. 04. 18 新井地域	将来的に子育てをしていくには、就職するいいものがないとやはりこの地域に残らない。市としても検討しながら対策をたっいてほしい。	新年度からは生まれたこども全員の難聴検査をやる、それについての補助金が出される。また給食については、今年度から主食をただにする。従って保護者の負担が減ることになる。医療費の関係では、窓口で支払う一部負担金も今年10月から無料になる。医療機関の問題についてはけいなん病院の充実も図っていかねればと思っている。	当日の回答どおり
38	H31. 04. 18 新井地域	この地域が地域として発展していくには、どういうふうを考えているか。	地域づくり協働センターの職員が地域に入って将来の地域をどうするんだということで、地域の人が真剣に考えないと、市役所が何とかしてくれるだろうという時代ではなくなっている。地域が一つになって子育てやお年寄りの見守りなど、原点に戻ることが少子化対策にプラスになると思っている。 中心市街地では、小学校にあがるこどもがいない町内がある。和田地区は働くお母さんがおり、にじいろこども園はどんどんこどもが増えている。子どもを上手に育て、働く場が妙高市の課題である。	当日の回答どおり
39	H31. 04. 18 新井地域	職場がないとせっかく大学に行っても戻らないで、都会で就職しだんだん衰退していく。人口減少がさらに拍車がかかるので、上越市も含めてその中で就職するような職場を確立していただければありがたい。	最近テレワークの企業を中心に、空き家や空店舗を活用し、大きな施設は作らず通信機器技術を活かした企業を誘致をして、雇用的人数を出していく企業誘致を進めている。しかし、どこの地方でもやっている事業であり、もっと具体的に魅力あるものにしていかないと若い人は来ない。地域が本当に地域でどうやるか、長野を含め、地域が一つになって物事を考えていく時代に入っていくと感じている。	行政側に伝える

平成31年 議会報告会・意見交換会における意見等の取り扱いについて

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
40	H31. 04. 18 新井地域	にじいろこども園の横にかなり大きな用水が流れているので、安全柵を付けるとか、蓋をしてもらえないか。	農業用水だから農林課だ、川だから建設課だとの話があって、水の通る場所に対して所管がどっちだというのが非常に問題になっている。 上江用水は施設管理者の関川水系土地改良区で安全策を設置した。	行政側に伝える
41	H31. 04. 18 新井地域	広島も10ヶ字用水が集落の中心を通過しているので住宅密集地は安全柵等を要望したい。	これからは取り上げていかなければならないと思うので、参考にさせていただきたい。	行政側に伝える
42	H31. 04. 18 新井地域	旧和田保育園の南側に公園があり、ブランコの踏板が劣化している。建設課に相談したところ、管理は町内ということで委託しているということだが、管理委託されているということであれば怪我した場合の保証はどうなるかわかれば教えてほしい。遊具に社会福祉協議会と書いてある。	どのような経緯でつくって、管理はどうなっているのかを議会として調べる。調べて皆さんに報告できるようにしたい。	行政側に伝える